

1 商品取り付け範囲について

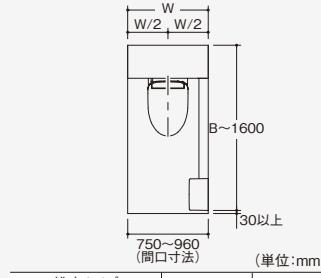
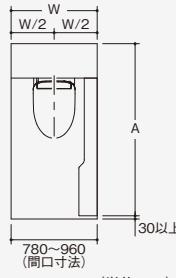
1-1 設置可能寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

(1) 間口750~960mmの場合

〈L型・Mサイズ〉

〈L型・Sサイズ〉
カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて下記の長さにカットできます。



排水タイプ	A	間口	B
床排水200	1600	750~855	1340
床排水135・壁排水	1500	856~960	1265
		750~855	1275
		856~960	1200

※床排水(排水心200)と床排水(排水心135)・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレのカウンターカット寸法が異なります。

〈I型〉

タイプ	A
床排水(排水心200)	1270
床排水(排水心135)・壁排水	1210

※床排水(排水心200)と床排水(排水心135)・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレ寸法が異なります。

(2) エンドパネルを使用する場合

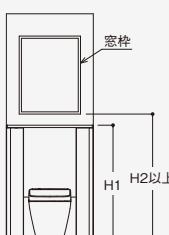
エンドパネルを利用して壁とすき間をあけて設置することも可能ですが、間口は1370mm以下としてください。



1-2 窓枠などについて

壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物がある場合、下図のような制約がつきります。事前に製品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

(1) 大便器後ろ壁に窓がある場合

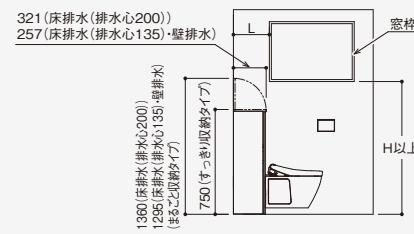


タイプ	H1	H2
L型・Mサイズ(まるごと収納タイプ)	1050	1100
L型・Sサイズ(まるごと収納タイプ)	1050	1100
L型・Mサイズ(すっきり収納タイプ※1)	750	770
L型・Sサイズ(すっきり収納タイプ※1)	750	770
I型・手洗器あり(すっきり収納タイプ※1)	750	880
I型・手洗器なし(まるごと収納タイプ)	1050	1100

※まるごと収納タイプで、窓枠の高さが1100~1295mm(床排水(排水心200)の場合は1100~1360mm)かつ、窓枠の出代が10mmを超える場合は天板が自立しません。

※1 天板は開きません。

(2) 大便器横壁に窓がある場合



タイプ	床排水(排水心200)		床排水(排水心135)・壁排水	
	L=365以上	L=365未満	L=300以上	L=300未満
L型・Mサイズ	890	1330	890	890
L型・Sサイズ	1080	1330	1090	1090
I型・手洗器あり※1	—	1020	—	880
I型・手洗器なし	—	1395	—	770

※1 I型・手洗器ありの場合はすっきり収納タイプとなり、天板は開きません。

2 取り付け施工条件について

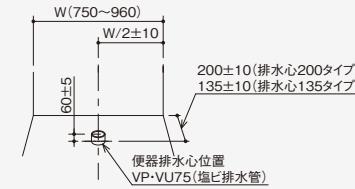
2-1 給排水位置の条件

(1) 排水位置の条件

① 床排水タイプ

下図の位置に便器の排水心があることをご確認ください。

VP・VU75(塩ビ排水管)は床から60±5mmで立ち上げてください。
VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。



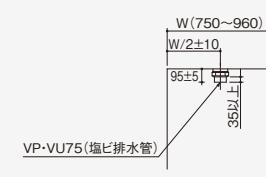
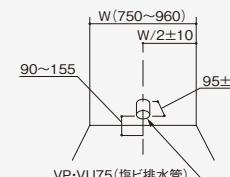
② 壁排水タイプ

下図の位置に便器の排水管位置があることをご確認ください。

排水勾配は必ず1/50以上確保してください。便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

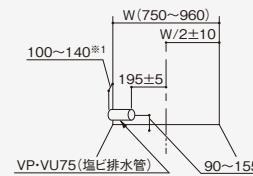
〈後ろ抜きの場合〉

〈後ろ抜き・フランジ付の場合〉
排水位置高さは90~155です。



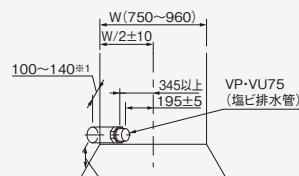
〈左抜きの場合〉

※右抜きタイプの場合は左右対称です。

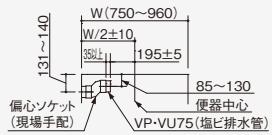


〈左抜き・フランジ付の場合〉

※右抜きタイプの場合は左右対称です。



※1 排水位置が後ろ壁から131~140の場合は別途偏心ソケットを手配し、右図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように、取り付けてください。



1 商品取り付け範囲について

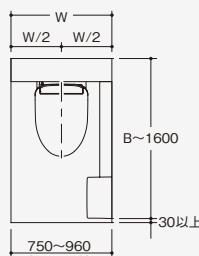
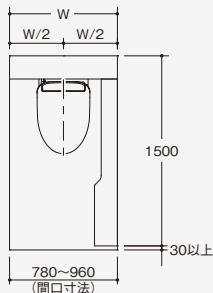
1-1 設置可能寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

〈L型・Mサイズ〉

〈L型・Sサイズ〉

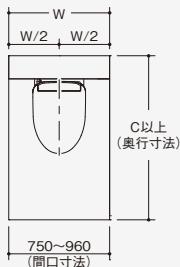
カウンターは使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて任意の長さにカットできます。



(単位:mm)

タイプ	B	
	間口750~855	間口856~960
まるごと収納タイプ	1265	1190
スリム収納タイプ		1190

〈I型〉

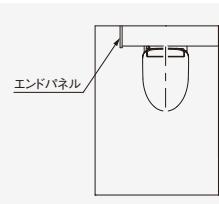


(単位:mm)	
タイプ	C
まるごと収納タイプ ^{※1}	1200
スリム収納タイプ	1115

※まるごと収納タイプとスリム収納タイプでは、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレの寸法が異なります。
※1 手洗器ありの場合は収納タイプ。

エンドパネルを利用して壁とすき間をあけて設置できます。

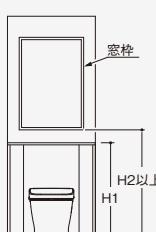
※右図はRタイプのエンドパネルです。逆勝手がLタイプです。



1-2 窓枠などについて

壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物がある場合、下図のような制約がつきます。事前に製品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

（1）大便器後ろ壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ ^{※1}		スリム収納タイプ	
	H1	H2	H1	H2
L型・Mサイズ	1050	1100	910	930
L型・Sサイズ	1050	1100	910	930
I型・手洗器あり	910	1020	910	1020
I型・手洗器なし	1050	1100	910	930

※まるごと収納タイプで、窓枠の高さが1100~1295mmかつ、窓枠の出代が10mmを超える場合は天板が自立しません。
※1 I型・手洗器ありの場合は収納タイプとなり、天板は開きません。

（2）大便器横壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ ^{※1}		スリム収納タイプ	
	L=300以上	L=300未満	L=210以上	L=210未満
H				
L型・Mサイズ	890	1330	890	930
L型・Sサイズ	1080	1330	1090	1090
I型・手洗器あり	—	1020	—	1020
I型・手洗器なし	—	1330	—	910

※1 I型・手洗器ありの場合は収納タイプとなり、天板は開きません。

2 取り付け施工条件について

2-1 給排水位置の条件

（1）排水位置の条件

下図の位置に便器の排水心があることをご確認ください。

〈排水心200タイプ〉

排水管（VP・VU75またはVP・VU100）は床から60±5mmで立ち上げてください。
排水管の材質および高さが下図と異なる場合、下記の必要部材を別途手配してください。
また、フランジを利用する場合も必要に応じて下記部材を別途手配してください。

必要部材

●排水心200mm

排水管	排水管高さ	
	0~55mm未満	55mm以上
VP・VU 75/100	60mm立ち上げアダプター (HH01001R)	—
鉛管 Φ75/100	排水ソケット (T90SW75/100) にて 立ち上げ直しが必要	—

●排水心200mm（フランジ利用）

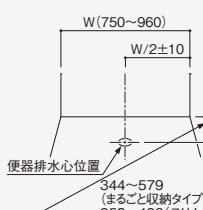
排水管	排水管高さ	
	VP・VU 75/100	フランジ (HP430-7/HP430-1) ※
鉛管 Φ75/100	取り替えアダプター (HH01003) フランジ (HP430-7/HP430-1) ※	—

※既設フランジが使用できない場合

〈排水心可変タイプ〉

既設フランジを利用します。

既設フランジが使用できない場合は、下記の必要部材を別途手配ください。



必要部材

●排水心258~579mmリモデル

排水管	排水管高さ	
	VP・VU 75/100	フランジ (T53WR75/T53WR100) ※
鉛管 Φ75/100	—	フランジ (T53WR75/T53WR100) ※

※既設フランジが使用できない場合

（2）給水位置の条件

下図の位置に仕上面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。L型、I型とも、給水対応位置は共通です。寒冷地（水抜方式）の場合は床給水のみです。

〈給排水まるごと工事タイプの場合〉

〔左右勝手共通〕

